

# 口内炎

監修／島根県斐川中央クリニック 院長 下手 公一

症状と所見

処方

## 比較的体力がある（実証）

のぼせ、イライラ  
不眠、下腹部の圧痛



黄連解毒湯

便秘、心窩部のつかえ  
尿量減少傾向

茵陳蒿湯

## 体力は中程度（中間証）

嘔気、口苦感  
心窩部のつかえ、心窩部痛



【基本処方】  
半夏瀉心湯  
黄連湯

皮膚乾燥、下腹部圧痛

温清飲

## 体力がない（虚証）

冷え、食欲不振、胃腸虚弱



人參湯



## 1 point ワンポイント・アドバイス

口内炎の原因には諸説ありますが、免疫学的異常もその一つです。胃腸機能や体力の低下、胃の熱によって口腔内環境が変化し、ウイルスに対する抵抗性が低下したためと考えられます。西洋医学では対症療法として口腔用ステロイド剤（軟膏剤・貼付剤）が用いられますが、再発を抑制するためには漢方治療が有効です。補気薬と胃の熱を冷ます清熱薬が配剤された半夏瀉心湯を基本処方に、治療を組み立てます。